



週報 第3016回

会長 藤野 修次 副会長 藤原 重行
幹事 寺田 敏也 SAA 泉谷 仁博

例会場 ホテルレイクアルスターアルザ泉大津
TEL 0725-20-1121
例会日時 毎週金曜日 12:30~13:30



事務局 〒595-0062 泉大津市田中町10-7 泉大津商工会議所3F TEL.0725-21-9500 FAX.0725-21-9501
メールアドレス izumiotsu-rc@ioctv.zaq.ne.jp
ホームページ http://izumiotsu-rc.org



今週の例会 (2019年2月1日)

■ プログラム

特別卓話 泉大津市長
南出 賢一 様

■ 次週のプログラム

- ・2月8日：分区7大阪合同例会に
振替休会
- ・2月9日：分区7大阪合同例会

■ 今後の予定

2月15日：特別卓話 大阪府議会議員
大橋 一功 様

■ 祝 誕生日

松村 泰英 (4日)

■ 今月のロータリーソング

四つのテスト

今月の歌

ペチカ

雪の降る夜は 楽しいペチカ
ペチカ燃えろよ お話しましょ
昔 昔よ 燃えろよ ペチカ

■ 先週の例会

会長の時間

今日の例会は1月最後の例会になります。月が明けて2月の第一回目の例会は、南出市長さんをお迎えし、新年特別卓話をして頂きます。

2月8日の例会は休会になり、翌日の土曜日に羽衣ロータリークラブがホストとなり「分区7の合同例会」が開催されますので、皆さんの参加宜しくお願い致します。

そして今日は「がん探知犬についての」お話をさせていただきます。がん探知犬は、人間の100万倍~1億倍以上の臭覚を持つと云われている犬の中でも臭覚と集中力に優れ、さらに特殊なトレーニングを受けた犬で、人の吸気や尿に含まれるがん特有の臭いを察知する能力を持っています。現在がん探知犬は6頭。いずれもラブラドルレトリバーです。検査は、吸気や尿を専用のバッグに入れて送ってもらい、がん探知犬の臭覚による判定を行います。時間のない人や精密検査を敬遠していた人も簡単にがん判定が受けられます。がん探知犬の研究が始まったのは、今から30年前イギリス・ロンドンの皮膚科医が皮膚がんの早期発見に関する症例を、医学雑誌を通じて報告しました。その報告によると、ロンドン在中のある女性が足に小さな隆起性のあざを見つけ、近くのクリニックで受診したところ、医学的な所見はないと診断された。しかし、飼っていた犬は、受診後も彼女のあざに近づき、匂いを嗅ぐことを繰り返しました。違和感を覚えた彼女は、総合病院で精密検査を受けました。その結果、あざは皮膚がんの一種である悪性黒色種である事が判明したそうです。幸いに早期発見で転移がなく切除することで治癒したそうです。この症例報告がきっかけとなり、がん探知犬の研究が始まりました。このがん探知犬によるがんスクリーニングサービスを地域住民の健康づくりに活用する自治体もあります。女性の胃癌による死亡率が全国で最も高い山形県金山市では、全国に先



藤野 修次 会長

IZUMIOTSU ROTARY CLUB 第3016回

駆けてがん探知犬のスクリーニングサービスを試験導入しています。現在では、どの部位のがんなのか特定することができませんが、将来には匂いだけでがんの種類が分かるようになるかもしれません。がん探知犬はまだ研究途上で不明な点もありますが、一人でも多くの方ががんの早期発見・早期治療の機会を得られるようになると思います。

幹事報告 寺田 敏也 幹事

- 2月9日(土)分区7大阪合同例会
ホテルきららリゾート開会。15時~受付、15時30分~開会、18時~懇親会
土曜日はシャトルバスの定期便がないので臨時便が、南海泉大津駅発 15:00 と懇親会終了後ホテル発 20:50 となっております。
- 高石ロータリークラブ例会変更のお知らせ
2月12日(火)の例会は2月9日(土)の分区7大阪合同例会

委員会報告

なし

■ 祝 誕生日

藤野 修次 (29日)
榎本 善夫 (30日)



■ ビジター

なし

■ 出席報告

会員数43名 出席免除0名

月日	出席数	欠席	補充	出席率
1/25	34名	9名	—	79.07%
1/11	35名	8名	2名	86.05%

■ メークアップ

榎本 (1/17 ワールド大阪ロータリーEクラブ)
泉谷 (1/18 親睦活動委員会)

■ ニコニコ箱

- ・八木先生、本日の卓話よろしくお願ひ致します 福田様、入会お待ちしております (藤野)
- ・八木先生、卓話よろしくお願ひします。又、福田さん、ようこそおいで下さいました (寺田)
- ・八木さん、卓話宜しくお願ひ致します (泉谷)
- ・渡辺様はじめ皆様のお助けで来れますことありがとうございます (古林)
- ・誕生日祝ひありがとうございます。寺田幹事わざわざお越しいただき申訳ありませんでした (藪野)
- ・欠席のお詫び (原 (眞))
- ・欠席のお詫び (西野)
- ・早退のお詫び (中)
- ・早退のお詫び (今井)

ニコニコ箱合計	18,000 円
累計	562,000 円

先週のプログラム 「死」



卓話担当
八木 昌彦 会員

正月早々の卓話にこんな話は何だと思ったが、12月来メディアの報道には連日“死”関連があった。事故死、犯罪死に始まり、死生学、未来学、年金医療がらみが続いた。週刊誌にも、死後相続、年金、保険の話。死ぬ前に手続きをして置く事柄と連載している。

100才時代と言われる中で次の数字がある。社会構造が変わり、今の年金・税制・保険・経済が持たなくなる。

100才以上	平成元年	3,000人
	20年	4,000人
	30年	70,000人
30年後	2050年	53万人

この中で健康寿命の人の割合は如何ほどか。中途半端な進化医療技術で無理やり生かされていないか。本人の意思確認も無関係に延命治療で持っている。孤独死もよくニュースになる。行政が見張り隊などといって手を尽くしているが、私の聞く限りでは“一人死で良い。もうこの年でパイプを鼻に入れて生きたくない”ということだ。二年前相模原ホーム殺傷事件があった。障害者老人を社会的不要と広言して、19人を殺した者(当時職員)がおった(後も似たような事件が続く)。よくやつてくれたと感謝している子供達も多数いるだろう。介護はもう手に負えない。介護離職は悲惨だ。社会的負担ももう限界に来てる。82才・・・、長く生きる者の試練」として農作家の本音が投稿されている。定期検診で一つ病気が見つかった、手術で終わったが今度は脳の病気そして大腸がん。医師に言わせれば“長生きするからだ、と。”75才で死んでおれば何も体験せずに済む、と。死ぬ権利はある?」ホスピス担当医の患者が自らの意思で飲食を拒み治療も拒否し、死を早めようとして医療現場を困惑させた。ガチンコの末、医師は睡眠薬を微調整して眠らせることを決断。一週間ほどで亡くなった。尊厳死法制化国会議員連盟が6年前にできた。障害者も医師もスムーズに事が運ぶよう活発な展開を望む。安楽死という選択」早稲田大学の女子学生が土光杯青年弁論大会で、100才まで生きて本当に素晴らしいでしょうか。自分らしさを失わない、自分の意思伝達ができる。これを欠いて100才の意味があるのでしょうか。と唱え安楽死法の法制化を提案する。